



sousei akita

曹青秋田

豪雨災害復興支援托鉢

七月二十一日、大館・鹿角・湯沢・横手の各
区で、八月二日には秋田市内で、九州北部並び
に秋田県豪雨災害復興支援托鉢を行いました。

中央地区

中央地区では秋曹青から二十名・協心会様から九名・岩
手県曹青様から会長様・副会長様・事務局長様が参加して
下さり、合計三十二名という大人数で、午後四時に秋田市手
形の白馬寺様を出発、行脚にて秋田駅へ向かいました。

秋田駅西武前で托鉢、多くの方々から沢山の有り難い浄
財をいただくことが出来ました。

帰りの白馬寺様まで行脚をし、幾分暑さの和らいだ快晴の
空の下、二時間の托鉢を
無事に終えることができました。

今回の托鉢を行うに当
たり、協心会様・白馬寺
様・岩手県曹青様から多
大な御協力・御支援を賜
りましたこと、心より感
謝申し上げます。

九州並びに地元秋田県
の一日も早い復興をお祈
り申し上げます。

(事務局)



鹿角地区

十一教区 萬松寺副住職 高田大航

鹿角地区では、毛馬内ユニバースと花輪駅前Aコープにて、
会員五名で托鉢をさせて頂きました。当日は天候にも恵ま
れ、多くの方々からの御支援をいただくことができ、日差し
が強いにもかかわらず足を止め募金をしてくださる地域の
方々の、復興応援への気持ちが強くなり伝わってきました。

この度の活動が少しでも復興への支えになればと思いま
す。被災された方々につきましては、一日も早い復興をお祈
り申し上げます。

湯沢地区

副会長 赤石基彦

湯沢市では、会員七名と集合場所の清涼寺方丈様の、合
わせて八名にて托鉢を行いました。

午後三時半に清涼寺様を出発し、湯沢市中心部へ駅前
市役所へ翔北高校前の各場所を行脚しました。

複数の募金箱に募金してくださる方々・我々を見かけて車
で通り過ぎた道を引き返して、路肩に止めて浄財を入れて
くださった方々など、離れていても被災地を想うたくさんの方
難さに触れることができました。

当日は猛暑日の中、托鉢中に怪我や体調を崩す参加者も
なく、無事に予定の時間で市内を回る事ができました。

皆様からの沢山の支援、誠にあ
りがとうございました。

今回急なお願いにもかかわらず、
快く御自坊をお貸しくださった清
涼寺様と、途中休憩場所に境内を
お貸しくださった東山寺様には、厚
く御礼申し上げます。



横手地区

横手地区では、十文字町・栄昌寺様を集合場所にさせて頂きました。

当日は予想と違わず三十度をこえる気温、さらに午後からは黒い雨雲が見え、風も出始め、雷雨等の天候急変も考えられそうな状況でした。

そんな中でしたが、急なお知らせにも関わらず会員六名が参集し、栄昌寺様を出発し、十文字町の駅前商店街や住宅地、道の駅周辺を約一時間半にわたり歩きました。

自宅の中に浄財を取りに行つて下さったり、御鈴の音に気付かれた方が玄関の前で待っていて下さったり。

多くの方から御協力を頂き、心から感謝申し上げます。(戸澤広悦)

大館地区

十八教区 実相寺副住職
大佐賀正信

午後三時を過ぎた頃、大館市役所裏の公園駐車場にて北鹿新聞社さんの取材を受け、会員五名・教区御寺院一名の合計六名で、大館市の中心地へと歩み出しました。

市内のスーパー周辺を巡る、平日昼

間の人通りを想定した行脚ルート。しかし托鉢当日は気温三十五度。工事や街路樹剪定のよう外仕事に出ている方達以外、真夏日のなか人出は極めて少ない状況でした。息を吸うたびに熱い空気が腹にたまるようで、読経の声も重苦しくなりがちです。自動車の走行音を割るよう、持鈴の高い音が街中に響きました。しばらくして、偶然居合わせたバスターの方より浄財を頂きました。また移動中に見かけた我々を、先で停車して待っていてくれた方もいらっしやいました。

足を止めてくれた方々にはただただ感謝しかありません。夕方になると風が心地よくなり街の人足も増えてきました。

一日も早く被災地に平穏な日が訪れることを願うばかりです。



七月二十八日・普門院様でのボランティア活動

十二教区 千手院内 齋藤智孝

この度、秋田市雄和の普門院様においてボランティア活動をしてまいりました。秋曹青から九名・教区御寺院様一名・檀家役員様十数名で活動いたしました。

普門院様は雄物川がすぐ脇を流れる立地上、境内だけでなく門前町のほとんどが浸水被害に遭われたようです。そのため、現地に到着するまでも、被害の多くを確認することが出来ました。

普門院様においては境内地や墓地、本堂の床下浸水といった被害があり、水かさは膝下位まであったそうです。そして浸水によつて運ばれた泥が、墓地や境内の地面にこびりつくように広がっております。活動内容としては、境内の泥の撤去をメインに、浸水した本堂床下の消毒剤散布の御手伝いをさせて頂きました。撤去作業は、粒子の細かい川砂が薄く堆積していたため、スコップですくうというよりブラシで掻き出すような感じでした。高圧洗浄機を使い、水の力で浮かせながらブラシで擦る。このような作業を繰り返し、

墓地や境内を掃除いたしました。そのほか、側溝に溜まった泥のかき出しをして、普段どおりとまではいきませんが、ある程度のお役には立てたかと思えます。

当日はあいにくの雨だったのですが、堆積した泥は乾燥すると舞い上がって作業が難しいと聞き、この日ばかりは雨に助けられたと思えました。

被災者におかれましては、まだまだ日常とは程遠い日々を過ごされている方もおられるかと思えます。一日も早い復興を御祈り申し上げます。



八月四日・大仙市での ボランティア活動

十五教区 能持院副住職 尾久雄人

今回、ボランティアに参加し、協和下澁川地区にあるお宅に派遣されました。移動中の車内から協和地区の被害の大きさがうかがい知れました。こちらのお宅には、秋曹青メンバー十名を含む四十名のボランティアが派遣されました。床上まで浸水しており、泥の跡から相当の水かさであったろうと思います。

私たちがした作業は、床下・畑・住宅のまわりに溜まった泥の搬出でした。住宅の床を剥がされている所は作業しやすかったですが、床の下に潜って作業しなければならぬ所もあり、そういった所は狭く苦勞しました。畑のほうは炎天下で、作業スピードがダウンしてしまいます。敷地の広いお宅でしたが、ボランティアの人数が多かったので、泥の搬出は当日で大体終わりました。

こちらの集落では、泥の搬出が終わっているお宅もありましたが、まだまだ支援を必要としているお宅は多いのではないかと思います。

こういった作業をしてみると、思ったよりも進まないことに驚きまし

た。そして、被害に遭った皆様がいつになつたら前と同じような生活に戻れるのだろうかと考えました。その為にも、できるかぎり現場に足を運ぶ必要をあらためて感じました。一日でも早い復興を祈り、御見舞いを申し上げます。



八月二十日・秋田市での ボランティア活動

今回は四名が参加しました。

午前中は、大住地区で被災者宅の片付け(本・布団等の搬出、仏壇の移動等)で、約一時間で作業は終了となりました。

その後、一旦ボラセンに戻り待機、午後から秋田市雄和・新波地区の民家にて、こちらでも主に小屋で水に浸かった物の搬出を行いました。

側溝から上がった水の為か、独特な匂いが立ち込め大変な作業でした。二時間ほど作業を行い、解散となりました。



九月一日・秋田市河辺でのボランティア活動

九教区 倫勝寺住職 山田俊哉

秋田市は気温二十五度程、よく晴れ活動しやすい日となりました。秋田市社会福祉協議会からの依頼を受け、四名が参加しました。

活動場所の住居は岩見川のカーブの外側に近く、八月二十四日の大雨では川から溢れた水で地域二帯ともに床上浸水しました。(七月の大雨でも床下浸水被害を受けました。)

家の前の道路は腰の高さまで水が深くなり、おばあさんは消防署員に背負われて脱出、波が立っていて恐怖を感じたと教えていただきました。

十時より、社協職員の指示のもと、浸水した車庫の荷物出しと泥かき・畑の泥かきを行いました。

午後は浸水した倉庫の荷物出しを行いました。十四時半頃作業終了しました。



九月二十七日・秋田市河辺三内でのボランティア活動

山田俊哉

初めは秋の清々しい天気でしたが、午後からの雨の予報が気になる日となりました。秋田市社会福祉協議会からの依頼を受け、七名が参加しました。

活動場所の住居は岩見川の橋、堤防のすぐ下で、大雨で庭に泥が堆積し排水溝がすっかり埋まってしまいました。午前十時より、社協職員の指示のもと、草刈りとともに、泥で見えなくなっていた排水溝を掘り起こしました。泥の堆積が深く、かなりの重労働となり、土嚢の数はかなり多くなりました。

午後三時前に、雨には降られることなく作業終了しました。

社協の方のお話によると、今のところ予定されているニーズは無いとの事。ただしボランティアが入って活動できることではなくても、個々の家の事情によりですが、まだ復旧作業は続いているようです。



支援金

この度の九州北部豪雨災害に対しまして、初動のボランティア活動資金として役立てて頂くために、秋曹青と致しまして、七月二十一日に支援金を送らせて頂きました。

- 福岡県曹青様へ 五万円
- 大分県曹青様へ 五万円

また、その後の秋田県豪雨災害を受けまして、各県の曹青様よりご支援のお気持ちをご頂戴しております。

- 大分県曹青様より 五万円
- 岩手県曹青様より 三万円
- 宮城県曹青様より 三万円
- 全曹青様より 一万円

心より感謝申し上げます。



曹青秋田／号外

発行／秋田県曹洞宗青年会

事務局／鹿角市花輪字上花輪13 長年寺内 発行責任者／菅原芳徳 編集責任者／戸澤広悦

秋曹青ホームページ <http://www.sousei-akita.net/>